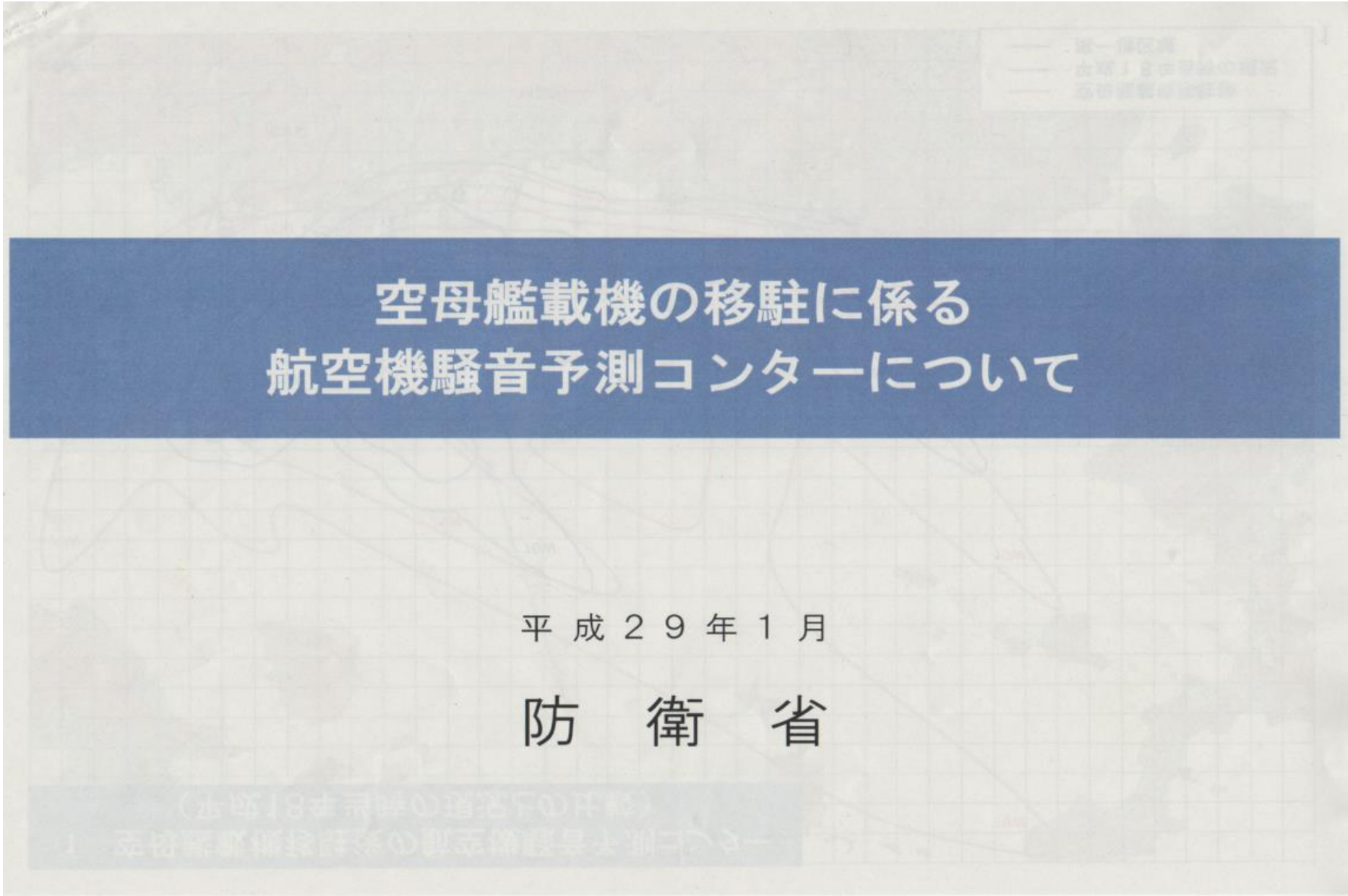




第一保護区線
六期騒音予測線
五期騒音予測線

空母艦載機の移駐に係る 航空機騒音予測コンターについて

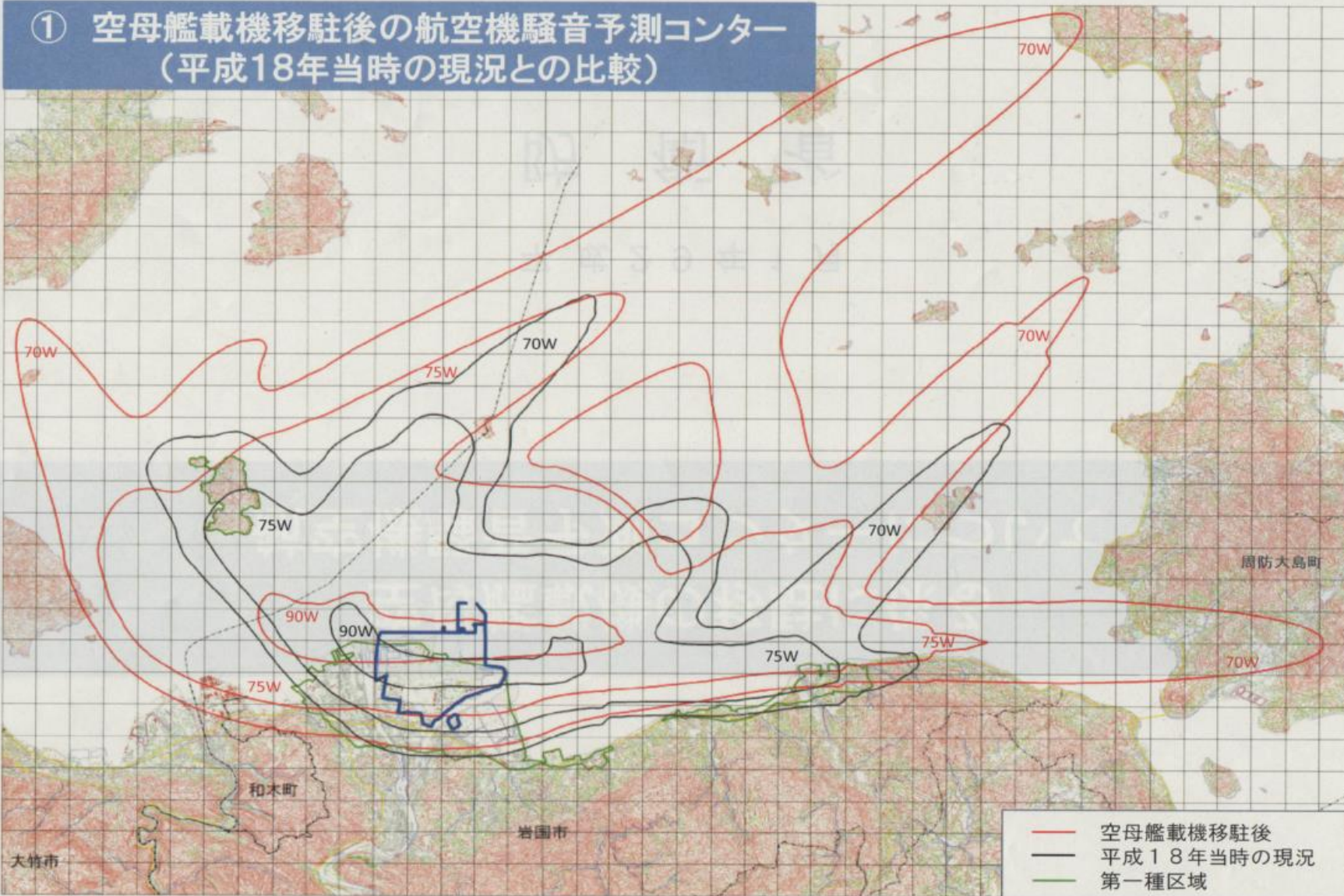
平成29年1月

防 衛 省

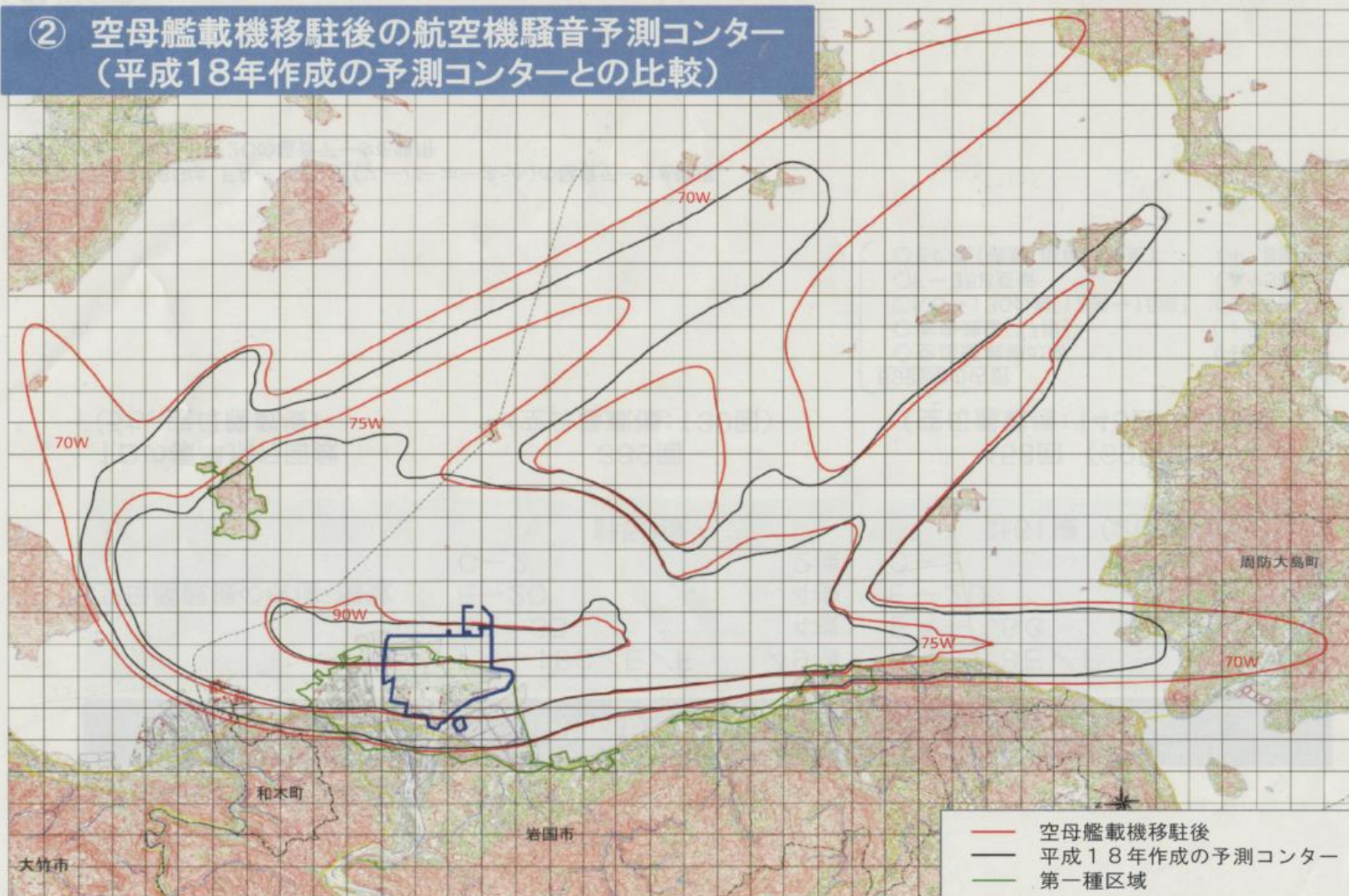
(本誌18巻1号の掲載予定)

1. 空母艦載機の移駐に係る航空機騒音予測コンター

① 空母艦載機移駐後の航空機騒音予測コンター
(平成18年当時の現況との比較)



② 空母艦載機移駐後の航空機騒音予測コンター (平成18年作成の予測コンターとの比較)



平成18年当時の主な変更点

	平成18年作成		今回作成	
空母艦載機の機種・機数	FA-18C/E/F	49機	FA-18E/F	48機
	EA-6B	4機	EA-18G	6機
	E-2C	4機	E-2D	5機
	C-2	2機	C-2	2機
	計59機		計61機 (2機増)	

1日の標準飛行回数
(うち、空母艦載機)

389回
(空母艦載機:130回)

458回 (69回増)
(空母艦載機:145回 15回増)

69回増の内訳

- 空母艦載機の増 (+15回)
- 海自残留[17機] (+56回)
- KC-130の増[12機→15機] (+ 5回)
- F-35B更新 (▲15回)
- その他(機数・機種の変更) (+ 8回)

※ EA-18Giは、FA-18E/F(スーパーホーネット)の騒音データを使用
E-2Dは、E-2Cの騒音データを使用